

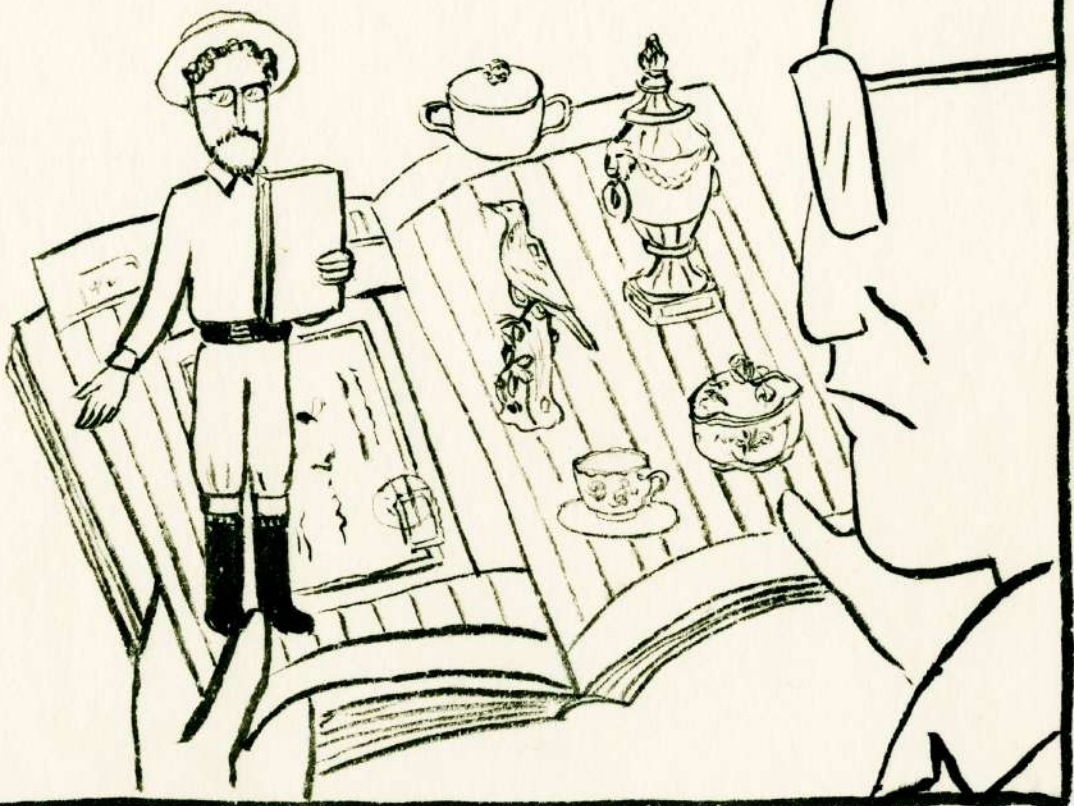
第二十三回

深掘り!

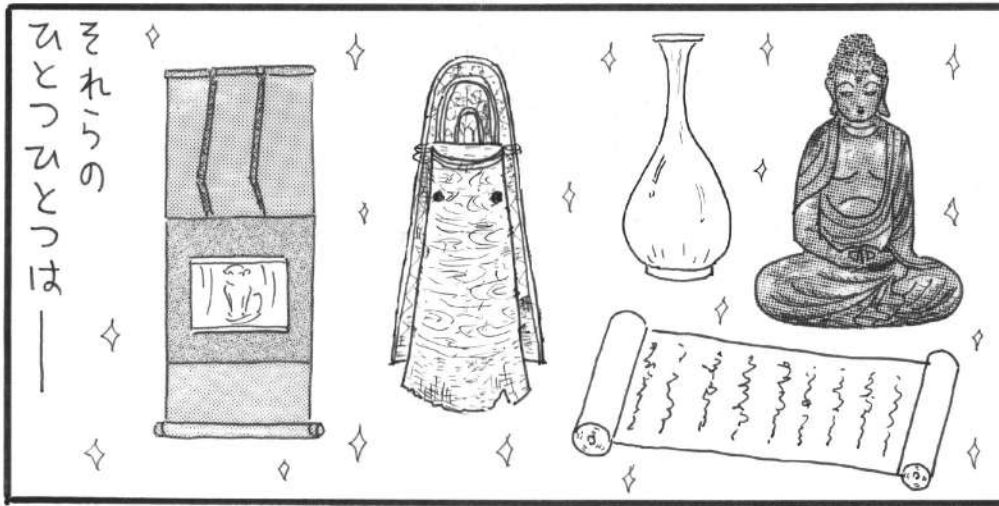
京博館蔵品書類

(館蔵品台帳

列品録)



京博が所蔵する  
約8300件もの「館蔵品」



それらの  
ひとつひとつは――



今はデジタルで  
とと思ってました

もちろん  
デジタルでも  
記録しますが  
デジタルは何かの事故で  
消える危険もあるので

なる  
ほどー

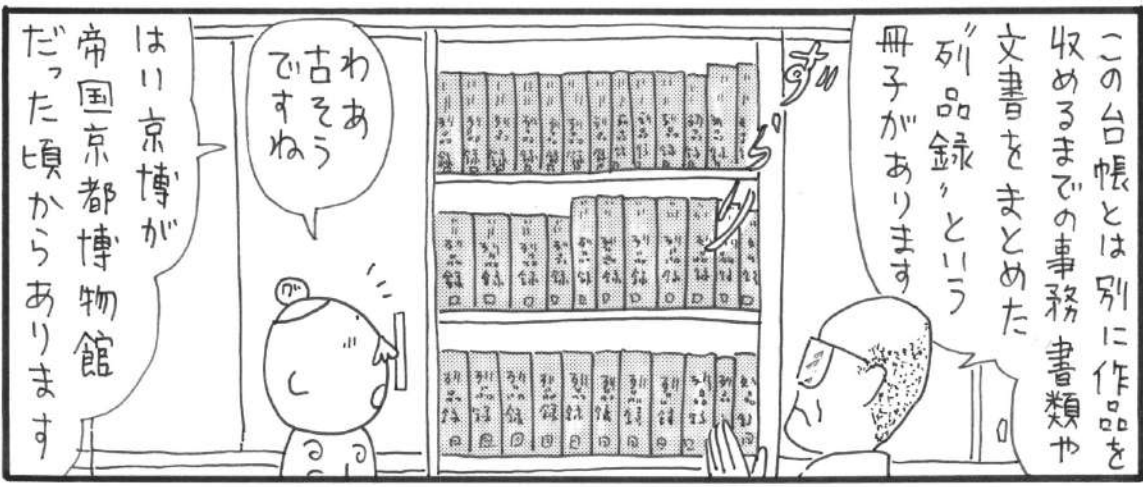


この館蔵品台帳に情報を  
記録し保存してあります

今回は  
京博の館蔵品の  
書類について

へえー  
紙ですね

学芸部長  
尾野さん



この台帳とは別に作品を  
収めるまでの事務書類や  
文書をまとめた  
『列品録』という  
冊子があります

わあ  
古そう  
ですね

はい京博が  
帝国京都博物館  
だった頃からあります



彼の名はフリッツ・ホッホベルク  
伯爵 (1868 ? 1921)



明治41年(1908)に日本に旅行し  
とりわけ京都が気に入ったという

それは伯爵がドイツの工芸品の  
寄贈先を東京ではなく  
京都の博物館に選んだ  
ことからわかりますね



列品録  
から3回  
に渡って  
寄贈されて  
いることが  
わかります

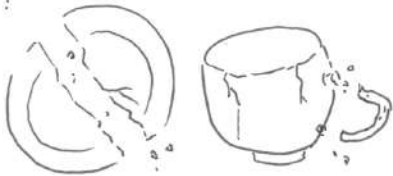
へー3回も!



そうなんです二に  
最初に寄贈された時の  
伯爵へのお礼の英語の  
下書きがあるんですけどー

そこにはー

すばらしい  
陶磁器を  
ありがたう  
でもその  
いくつかは  
輸送途中で  
壊れて  
しまっていました……



ーという記述が……

んたこと正直に  
書かんでも  
いいのに……

と思って  
いたら

あそれに  
対する伯爵の  
手紙がある

そこにはー



では改めて  
お送り  
いたしましよ

ーと書かれてあって  
実際また寄贈  
されたのです

おおー伯爵  
太っ腹  
ですぬー!!





